



佐藤誠七 町長

平成26年度
施政方針
(要旨抜粋)

次のステージにつなげていく一歩とつと

昨年7月の豪雨災害は、予想を超える被害の大きさでありましたが、私たちの美しいふるさとと安定した生活を一刻も早く取り戻し、次代へとつないでいかなければなりません。被害箇所の復旧に向け、国・県を初め多くの皆様のお力を借りし、町民の皆様の安全で安心な暮らしの確保に向け努力してまいります。町政を担わせていただき6年目実質2期目の折り返しを迎えますが、「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」を目指し、町民の皆様と視線を同じくして共創のまちづくりを進めていきます。今年白鷹町が誕生して60周年にあたり、これまで先人が培ってきた伝統文化と恵まれた自然環境を誇りに、町民の皆様とともに記念すべき年を祝い、次のステージにつなげていく一歩として様々な事業に取り組んでいきます。

「第5次総合計画」の

平成26年度各会計当初予算額			
会計名		予算額	
一般会計		76億1000万円	
特別会計	十王財産区	55万円	
	下水道	8億1034万円	
	国民健康保険	16億931万円	
	農業集落排水	1億5425万円	
	介護保険	15億9240万円	
	後期高齢者医療	1億3825万円	
企業会計	水道	収益的支出	3億1158万円
		資本的支出	1億2552万円
	病院	収益的支出	12億213万円
		資本的支出	9947万円
	訪問看護ステーション	収益的支出	3925万円
合計		136億9305万円	

※万円未満は端数を整理しています。

総括質疑

菅原 隆男 議員

菅原 予算の編成における消費税率引き上げの影響をどう捉えているか。

指定管理料での燃料費や電気料金、物件費

町長 等維持補修費や投資的経費などで7000万円程の影響と見ており、歳入では、地方消費税交付金等の増加分、使用料・利用料等の増加分、普通交付税の需

要額増加分などを見込み、予算における影響は歳入歳出で同程度と見ている。

菅原 行財政改革推進の中で、直面する課題に対して積極的に対応するための組織づくり、人づくりを進めていくとあるが、どのような組織体制を考えているのか。

町長 学校教育部門の体制強化、産業振興課に農林担当主幹の配置、総務課企画室にまちづくり推進係を設置するなど、限られた職員体制の中で可能な限り業務の重点化、効率化をはかっていく。

関 千鶴子 議員

関 自主財源の伸びは期待できず構造的に硬直化する財政状況のなかで、町の施設整備をどのように進めていくのか。

町長 計画段階から住民の方々と議論をいただきながら進めていくとともに、国・県費を初めとした有利な財源を模索しながら、将来の財政見通しを十分に踏まえ、計画的に進めていく。

関 次世代を担う子供の数を減らさないための施策展開、保育の量の見込みや子育て支援施策の展開をはかっていくとあるが、柱となる考え方や見通しは。

町長 人口減少を認識せざるを得ないが、減少をできるだけ緩やかにしていく考えの中で、保護者の方々の声を伺いながら、その声を反映した計画づくりをしていく。